



機械・CADオペレーション科

Mechanical/CAD Operation Department

入所月

標準コース 令和6年5月、8月、11月、令和7年2月

導入講習付きコース 令和6年10月

訓練募集スケジュールの詳細については、P6をご覧ください。
「導入講習付きコース」の詳細については、P10をご覧ください。

受験可能な資格

訓練期間中に取得

●自由研削といし特別教育

任意で受験可能

●CAD利用技術者試験2級

就職先のイメージ

- 汎用工作機械オペレーター（旋盤・フライス盤）
- NC工作機械オペレーター（マシニングセンタ・NC旋盤）
- 機械部品、機械装置の設計・設計補助業務
- 電気図面・配線図の設計・設計補助業務
- 土木・建築・建設関係の施工及びCAD設計・設計補助業務
- CADオペレーター業務（機械・建築・土木・電気）

費用の目安

テキスト代等
12,000円程度

過去の就職先

- 株村上製作所
- 山城金属株
- 大三機工株
- 丸富士産業株
- 株XEN GROUP
- 株シンキ製作所
- 株森川ゲージ製作所
- 株三共機械工業
- 三村鉄工所株
- 小松印刷グループ株
- 株鎌長製衡
- 株レクザム
- アオイ電子株
- 葵機工株
- （ほか）

修了者の声

訓練では基礎知識をしっかりと学ぶことができます。基礎を学ぶことで就職後、覚えるスピードが全く変わってきますし、円滑に仕事を進めることができます。

訓練期間中、無理なく、楽しく、学ぶことができました。就職活動のサポートもしっかりありますし、受講して良かったと思います。

マイクロメーターでの測定など、現在仕事で使っていることを訓練を通してあらかじめ学ぶことができましたので、再就職の不安がかなり減りました。

製図の基礎から加工実習まで、機械に関する基礎を広い視野で学べ、実践的なCAD製図が出来るようになりました。機械加工を繰り返すことで、物づくりの面白さ、厳しさが実感できました。

採用企業の声

CADの操作だけでなく、図面が読め、機械の基礎的な内容が理解できている。また、機械加工に関する基本的な技能・技術が習得できているので助かっています。

訓練内容

工作機械を用いた切削加工を行う加工分野と機械製図を行う製図分野に重点を置いたコースです。加工分野では、普通旋盤、フライス盤の汎用工作機械と、数値制御工作機械を使用した、マシニングセンタ・NC旋盤の訓練を行い、切削加工の知識・技術を習得します。また、精密測定の知識・技術も同時に習得します。製図分野では、機械製図の規格に準拠した知識と、CADを用いた製図の基礎技術を習得します。

測定

期間 ▶ 1週間

精密部品を製作・検査するのに必要な測定技術（確実な測定力・正確な読取り力）を習得します。製図を行う上でも必要な技術です。



普通旋盤/NC旋盤

期間 ▶ 5週間

旋盤とは円筒状の部品形状を作る工作機械です。この訓練では、手で機械を操作する普通旋盤とパソコンでプログラミングを行い、作成したプログラムで機械を操作するNC旋盤を使用し、切削加工の知識・技術を習得します。



フライス盤/マシニングセンタ

期間 ▶ 5週間

フライス盤とは四角形状の部品を作る工作機械です。この訓練では、手で機械を操作するフライス盤とパソコンでプログラミングを行い、作成したプログラムで機械を操作するマシニングセンタを使用し、切削加工の知識・技術を習得します。



労働安全衛生法にもとづく特別教育

期間 ▶ 1週間

ものづくりに必要な研削といしの取り付け、取り外しについての知識と技術を習得します。



製図基本

期間 ▶ 4週間

図面を読んだり、描いたりするには製図に関する規格（JIS）を理解することが必要になります。この訓練では、手書きによる製図を通じて、規格に基づいた図面作成の知識と、技術を習得します。



2次元CAD

期間 ▶ 4週間

コンピュータを利用して図面を作成するのがCADです。CADは手書きによる製図に比べ、図面の作成、管理を効率的に行うことができます。この訓練では、CAD操作方法、図面作成、図面データの管理について学びます。



3次元CAD

期間 ▶ 2週間

2次元で表現される図面とは違い、コンピュータ上で、部品の立体形状を描くことができるソフトが3次元CADです。この訓練では3次元CADの基本的な操作方法、部品形状の作成を学びます。



3Dプリンタ

期間 ▶ 2週間

3次元CADで作成したモデルデータを活用し、3Dプリンタによる立体造形の知識と、技術を習得します。

